

組織カク乱し分断を宣言 電話連絡第三六二号

中央本部は二月十三日千葉地本第三二回臨時大会について、電話連絡第三六〇号を発出してきた。その内容たるや

●第三二回千葉地本臨時大会の開催および決定については全て無効。
●十四日夕刻中執委を開催し、態度を明らかにする。

そして、二月十四日二時五十分、次のような電話連絡第三六二号を発出してきた。

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

本部の「千葉地本組合員への直接指導」弾劾！

2・10千葉地本大会開催についての本部見解について

電話連絡第三六二号 (79.2.14)

<指令> 千葉地本指導部は、すでに今日までの言動をみると動労単一組織の地方機関としてはきわめて問題がある。したがって第101回中央委員会の決定にもとづき執行権停止に値するが、しかし、近く開催の定期中央委員会で最終決定をおこなうことが、より有効であるとの立場から当面この間の取扱い、組織指導として次の措置をとることとする。

1. 当面、中央委員会の決定までの間、各支部、各組合員への指令、指示、情報などについての指示連絡は、地本のみならず各支部直送ないし家庭郵送とする。
2. 「日刊動労千葉」については、すでに各号において反組織活動、分裂策動の一環としての情報活動と認定せざるをえない。したがって当面次期中央委の決定まで発行停止します。

われわれはこの電話連絡第三六〇号および三六二号を「千葉地本凍結」事実上の執行権停止」であり、全く常軌を逸した破壊行為そのものであると考える。

解明要求に答えず
話し合う気のない中央本部

中央本部はこの間、千葉地本からの組織二六号二七号による解明要求に全く答えていない。
1. 「関東青年部発十一号」をはじめとする一部反動分子の規約・規則無視、組織運営ルール無

視を黙認、助長している事実。

2. 千葉地本を「敵」「裏切者」呼ばわりする青木書記長、「千葉地本再建」を叫ぶ城石組織部長の組織指導者としてあるまじき言動(排除策動そのものだ!!)。

3. 千葉地本への悪質なデマ・中傷を書き連ねた「青年部学習文庫No.2」。

4. 一月三十一日・二月一日に水上・「ホテルニュー松の井」に集結した「指令なき集団」(動労組合員)の動向とその全事実はどうなっているのか。

以上のことをはじめとする千葉地本からの問いかけに全く応えないまま、一四〇〇名組合員の総意による第三二回地本臨大を認めず、一方的に中央本部が千葉地本組合員を直接指導するというのだ。

千葉地本へ入り、直接組合員の声を聞こうとしたことが一度もない中央本部の考えそうなことだとわれわれは考える。

中央本部は「1・31千葉地本本部交流」を話し合う共通の場を作るためのものだと呼んでいる。しかし、われわれはそう考えない。

「1・31」は「話し合った」という形式を整えて全国の動労組合員をギマンし、同時に「千葉の執行部はダメだから」として「直接千葉地本の組合員と話し合う」という城石組織部長の「千葉地本再建」に向けて団結ガンパロー路線を実行するための場として、水上に指令もないまま三〇〇名ものセクト的動員を行ない、千葉地本の中心的活動家八〇余名を本部へ前泊で呼び出した留守に空巣狙いの千葉地本へ乱入しようとする目的のために設定された「話し合う」気など全くない「交流」なのである。

排除の思想による
セクト的引きまわし

この間の一連の事態は、まさに排除の思想に基づく動労のセクト的引きまわしの極致である。千葉地本を無視した電話連絡第三六二号は「家庭郵送」も含めて、千葉地本への組織破壊策動の具体的あらわれであるとともに、再登録の前段攻撃であり、断じて許せないものである。

一四〇〇組合員・家族の団結をさらに打ち固め、この千葉地本排除組織破壊攻撃をはねかえしてゆこう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！